陸奥湾海況自動観測

システムホームページ パップコン http://www.mutsuwanbuoy.jp

陸奥湾溶存酸素情報

平成 24 年度第 5 号

発行日

平成 24 年 10 月 9 日



溶存酸素測定結果表 (上段:% 下段:mg/L)

11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											
	St.1	St.2	St.3	St.4	St.6	St.7	St.9	St.10	St.11	St.12	横浜沖St.
30m層	112.5	108.7	107.2	107.2	107.4	98.7	59.1	1	-	_	105.8
	(7.76)	(7.52)	(7.40)	(7.39)	(7.47)	(6.81)	(4.23)				(7.37)
底層	100.3	96.0	88.5	41.0	53.3	76.4	52.2	98.1	101.1	95.5	29.1
	(7.39)	(7.41)	(6.72)	(3.04)	(3.91)	(5.33)	(3.75)	(6.96)	(7.07)	(6.81)	(2.13)

(底層は全地点ともに海底直上の値)

10月2~3日、5日に今年度5回目の陸奥湾内の溶存酸素量調査を行いました。

図で示した 11 地点で調査を行ったところ、St. 4 の底層で 3.04mg/L、St. 6 の底層で 3.91mg/L、St. 9 の底層で 3.75mg/L、横浜 沖 St. の底層で 2. 13mg/L と東湾中央部を中心に 4. 3mg/L を下回る結果となり、低酸素水塊の存在が確認されました。特に横浜沖 St. では、底層直上約 2m で 2.5mg/L 以下となっていました。ホタテガイ養殖場付近の St. 10~St. 12 では低酸素水塊が確認されま せんでした。

前回は、St.3、St.4、東湾ブイ St.の湾中央部3地点で低酸素水塊が確認されましたが、今回は東湾4地点で確認されました。

*水産用水基準(抜粋:社団法人 日本水産資源保護協会)

内湾漁場の夏季底層において最低限維持しなくてはならない溶存酸素は4.3mg/L(3mL/L)であること。

発行 地方独立行政法人 青森県産業技術センター水産総合研究所

電 話 017-755-2155

FAX 017-755-2156

URL http://www.aomori-itc.or.jp

